



2026 年 7 月 31 日

東洋スチレン株式会社

## 使用済みポリスチレン製容器から再生した

### 「リフレッシュ ポリスチレン®」を株式会社ヤクルト本社へ納入

～公民連携による使用済みポリスチレン製容器の水平リサイクル・資源循環を実現～

東洋スチレン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：七井正成、デンカ株式会社持分 65%、日鉄ケミカル&マテリアル株式会社同 35%、以下「当社」）は、使用済みのポリスチレン製乳酸菌飲料容器をケミカルリサイクルにより再資源化し、新品と同じ品質を持つ「リフレッシュ ポリスチレン®」（\*1）として、株式会社ヤクルト本社への納入を開始いたしました。

本取り組みは、SDGs の達成に向けて「市原発サーキュラーエコノミーの創造」を掲げる千葉県市原市、株式会社ヤクルト本社、大型ショッピングモール「ユニモちはら台」および当社が協働で進めている、「市原市ポリスチレンケミカルリサイクルシステム推進協議会」における「乳酸菌飲料容器水平リサイクル検討部会」の活動を通じて実現しました。

「ユニモちはら台」に設置した専用ボックスから回収された飲用後のヤクルト容器は、市原市内にある当社ポリスチレンケミカルリサイクルプラントにおいて処理されます。当社の技術を活用し、回収した容器を化学的に分解して原料であるスチレンモノマーに戻した後、再度ポリスチレンとすることで、新品と同じ品質を持つ「リフレッシュ ポリスチレン®」に再生します。

今後は、納入した「リフレッシュ ポリスチレン®」が再びヤクルト容器に生まれ変わることで、国内唯一となるモノマー化ケミカルリサイクルによるポリスチレン製容器の水平リサイクルを実現します。当社は今後も、環境負荷低減に対するニーズに真摯に向き合い、サーキュラーエコノミーの実現に向けた社会実装に努めてまいります。

\*1 「リフレッシュポリスチレン®」は、ISCC PLUS 認証に基づくマスバランス方式（特定の原料の投入量に応じて生産する製品の一部にその特性を割り当てる流通管理方式）により、持続可能な特性を割り当てた製品です。

以上

#### 【ご参考：関連過去プレスリリース】

[https://www.toyo-st.co.jp/cgi-bin/toyo-st\\_.cgi?name=ts\\_260427&type=pdf](https://www.toyo-st.co.jp/cgi-bin/toyo-st_.cgi?name=ts_260427&type=pdf)

#### 【本取り組みについてのお問い合わせ先】

東洋スチレン株式会社 サステナビリティ本部

電話：03-3519-5602